

令和 2 年度 東京情報大学総合情報研究所プロジェクト研究  
研究実績報告書

1. 研究課題名

千葉県との協働によるプロモーションビデオ制作（シティセールスビデオ制作）

2. 研究組織

区分	氏名	所属・職名
研究代表者	藤田 修平	総合情報学部 総合情報学科・准教授
研究分担者	浅川 順	総合情報学部 総合情報学科・教授
	長山 浩基	総合情報学部 総合情報学科・3年
	工藤 信一	総合情報学部 総合情報学科・3年

3. 連携先団体等

団体名	連携部署
千葉県	経済農政局経済部観光プロモーション課国内集客班

4. 研究期間

2020年4月1日～2021年3月31日

5. 研究の目的

千葉県観光プロモーション課と東京情報大学の協働で行ってきたシティセールスビデオプロジェクトは千葉市の観光振興と地域活性化を目的として 2011 年に始まった。千葉市で開催されるイベントや多様な施設を学生レポーターが紹介し、その魅力を学生の目線で伝える PR 動画を制作し、YouTube にアップロードするとともに、千葉市のウェブサイト上にすべての URL をまとめて掲載していただき、そのページは「魅力チャンネル」と名付けられた。(現在もそのページは存続し、リンクをクリックすれば動画を見ることができる)。総制作本数が 100 本に到達し、取材対象もほぼ網羅されたことを理由として、2018 年度で一旦終了とした。

それを第一期とすれば、2019 年からは第二期としてウェブ上ではなく、区役所や公民館など人が集まる場所に置かれたモニターなどに、会議やイベントの休憩時間などを使って放映できる動画コンテンツを制作することを目的とした。そのために作品のスタイルも変更し、4K 画質のミラーレスカメラ(Panasonic GH5 など)で撮影し、ドローンや 360 度カメラ、GoPro などのアクションカメラを用いるなど、スペクタクル性を重視することとした。今年度は口蹄疫の防止のために出入りを規制してきた乳牛育成牧場が民間資本によって観光牧場ウシノヒロバとして開業することになり、この牧場と富田さとお耕園を中心としたエリアのグリーンツーリズムの推進と地域振興のため、PR 動画の制作を行い、若

葉区民まつりで発表することとなった。

## 6. 研究報告

春先から新型コロナウイルス感染症の蔓延が深刻化し、学生だけでなく教員も大学のキャンパスへの自由な立ち入りができず、前期はこのプロジェクトをすすめることは全くできなかった。また、ウシノヒロバの建設にも遅れがあり、夏休み期間中に教員と学生は何度か視察したが、結局、ウシノヒロバと富田さとにわ耕園を中心としたエリアの PR 動画の制作は中止となった。(若葉区民まつりも中止となった)。

それに代わって春先に千葉市若葉区のいちご狩りを教員が撮影しており、その映像素材を用いて学生が編集し、PR 動画制作し、またクリスマスシーズンには工場夜景クルーズに担当教員と学生が4回ほど乗船し、明るいレンズを複数本レンタルして撮影し、学生が編集して完成させてそれぞれ千葉市に納品した。

## 7. 成果の公表

工場夜景クルーズの PR 動画は YouTube に公開された。

<https://www.youtube.com/watch?v=72YtnhNterY>

## 8. 総評

千葉市・経済農政局経済部観光プロモーション課

本市では東京情報大学と連携しながら、市のイベントや観光施設等について、動画による情報発信を行っている。

学生の若い視点・感性により制作された動画は、国内外で利用率の高い動画共有サービス「YouTube」で公開しており、当該サイトは10代～30代の利用率が多いことから、若い世代のユーザに対し効果的な情報発信ができているものとする。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、動画公開にかかわる基準（出演者のマスク着用等）が厳格化されたため、いちご狩り動画の公開は、当面の間先送りされることになったものの、工場夜景クルーズ動画については公開をすることができ、視聴者に対し本市の魅力的な観光スポットを強く PR できる内容になったと考える。